埼玉県特集

彩の国 主要幹部に聞く

企画財政部長 中野　晃 氏

現状突破のモデルを

少子高齢化やグローバル化など今日の日本はさまざまな変化に直面している。こうした変化に迅速に対応していくためには、現状の枠を突破して新たな社会モデルを構築する必要がある。

このため、今年度予算を『日本再生』先導予算と位置付け、各部局と協力して、5カ年計画に掲げる12の戦略、「エコタウン」、「ウーマノミクス」、「健康長寿」の3大プロジェクトに重点的に取り組む。また、経済の再生に向け、すべての施策に、産業を興し、雇用を拡大するという視点を加え、「通商産業政策の地方分権化」を進める。

県民のニーズに真摯（しんし）に向き合いながら、「安心・成長・自立自尊の埼玉」の実現を目指す。

総務部長 三井　隆司 氏

さらなる税収確保を

県は「エコタウン」、「ウーマノミクス」、「健康長寿」の3大プロジェクトをはじめとした先進的な取り組みを推進している。こうした攻めの姿勢を財政面で支えるため、職員一丸となって税収確保を図る。

県が直接徴収する自動車税等の納税率は195 4年度以降で最高となったが、県税で最も大きな割合を占める個人県民税の納税率については苦戦している。

今年度は、市町村が徴収する個人県民税の納税率アップに向け、県と市町村がスクラムを組んで動いていく。

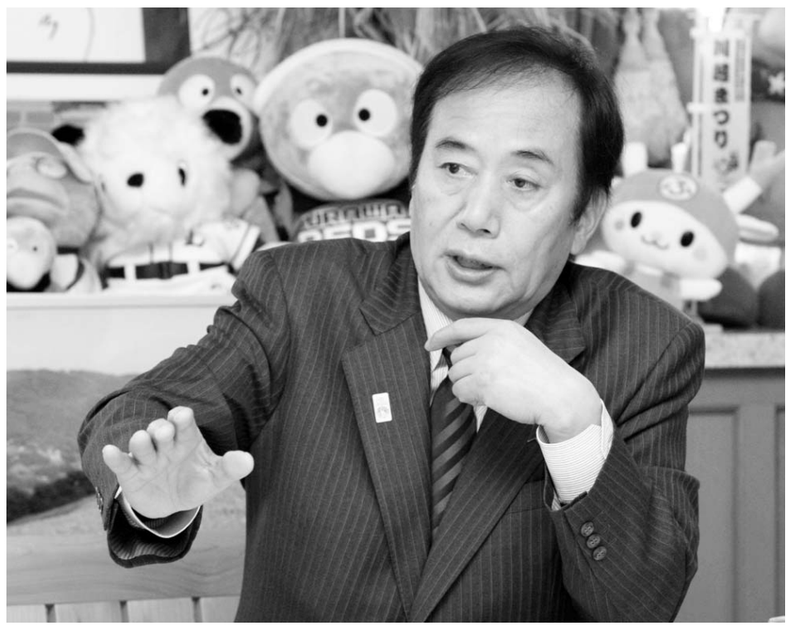
新たな方策として、徴収の好取り組み事例を市町村同士で意見交換する場を県内各地に設けるなど、市町村が自発的に徴収を強化できるよう支援していく。

〝埼玉発の日本再生〟へ

上田　清司埼玉県知事 に聞く

地方へ、もっと権限譲を

生産性向上につながる技術開発を支援



2003年9月の就任以来、制度融資改革、企業誘致、創業ベンチャー支援などに力を注いできた上田清司埼玉県知事。11年8月にスタートした3期目からは、〝埼玉発の日本再生〟を新たなテーマに掲げている。これを実現するために提唱しているのが、「エコタウン」、「健康長寿」、「ウーマノミクス」の3大プロジェクトと、通商産業政策の地方分権化。上田知事に各戦略にかける思いを聞いた。

―通商産業政策の地方分権化を掲げています。

「新興国の成長を取り込むのが主な目的。従来、海外に関することは国の専権事項というイメージが強かったが、今後は地方も独自に各国政府と連携すべきだと思う。特に新興国は、一部の人たちに決定権が集中する傾向がある。こうした人たちとのパイプを、地方が持っていないといけない。また、ある程度現地政府による保証がないと、海外進出は困難。埼玉県が現地政府に保護してもらい、県が民間企業を保護する枠組みが必要だ」

―内需型産業の振興については。

「大事なのは、各地方で半永久的に経済を回す仕組みを作ること。県では、エネルギーの地産地消を実現する『埼玉エコタウンプロジェクト』のモデル事業を、本庄市と東松山市で進めている。地元の中小企業が主な担い手となっているのが、埼玉モデルの特徴。本庄では約500世帯をエコタウン化するにあたり、地元有力企業3社が太陽光発電装置を売り込んでいる」

エコタウン　健康長寿　ウーマノミクス

3大プロジェクト推進

「30年後には、資本主義の最後のフロンティアであるアフリカでも、経済成長がストップするかもしれない。つまり、新興国の成長を取り込むのにも、限界があるわけだ。その時を見据えて新しい社会を作らないといけない。原発事故に伴うエネルギー問題により、日本にはチャンスが与えられたと思う。最先端の先進国となり、世界に先例を示すべきだ」

―健康長寿埼玉プロジェクトを進めています。

「健康でないと、長生きするのにもお金がかかる。こうしたことによる将来への不安が、消費マインドに悪影響を及ぼしている」

「都道府県別平均寿命が男女とも1位になった長野県では、減塩運動のような健康増進活動が各地で起こっている。同じようなことを日本中でやれば、結果として経済の活力は高まると思う。個人ではなく、長野のようにまち全体で取り組むことが大切だ」

―埼玉版ウーマノミクスについてもお聞かせ下さい。

「労働人口が減少する中、女性のさらなる社会進出は必要不可欠。女性がキャリアを継続することで、企業にとっては人材を代えなくて良いというメリットも出てくる。また、女性が活躍する企業からは当然女性向けのヒット商品が生まれやすい」

「女性が働きやすい職場かどうかは、結局の所、企業の文化次第。これを変えていくしかない。週休2日制導入も大企業と役所が先行し、徐々に日本中に浸透していった。同様に、育児期間中の時短勤務などを広めるのは、可能だと思う」

―国への要望は。

「労働生産性向上につながる技術開発を、もっと効果的に支援しないといけない。地方の企業に関しては、国より自治体の方がよく知っている。従って国の補助金については、採択などの権限を都道府県に持たせてほしい。成果を地方別で比較し、その後の予算配分に反映させるのも良いかもしれない。そうすることで競争が生まれ、技術開発は活性化するだろう」

簡単！清潔！人にやさしい！　業務用生ごみ処理機
Land care 16Ⅱ
バイオ&温風乾燥のハイブリッド方式　バクテリアなどの基材は永久に不要
各市町村にて爆発的に導入が進んでおります！
ゴミ処理量 16kg/日　省エネ 省スペース　リサイクル 推進　メンテナンス 簡単
◉食品廃棄物を約1/8に減量可能
◉気になるニオイは強力分解
◉毎日いつでも連続投入が可能
◉残渣物の袋詰めは手を汚さない自動処理
◉100V15A電源の採用で手軽な設置
生ごみ処理機　キヤノン電子　検索
キヤノン電子株式会社 http://www.canon-elec.co.jp
お問い合わせ、資料請求は
【業務用生ごみ処理機 Land Care 16Ⅱ　03-6910-4128　E-mail：environment@canon-elec.co.jp】
【SML セキュリティスイート with FFR yarai　03-6910-4125　E-mail：soft@canon-elec.co.jp】

今、この時にも狙われているかもしれない。
Canon キヤノン電子株式会社

ますます増加し、高度化する標的型サイバー攻撃には、「守る」「制御する」「追跡する」新たなソリューションが必要です。
悪意を持ったハッカーによる「標的型サイバー攻撃」。政府関係機関から製造業などへ、そのターゲットは大きく広がっています。
キヤノン電子の新しいセキュリティソリューション「SML セキュリティスイート with FFR yarai」は、マルウェアを検知して強固にブロック。
さらに、マルウェアの行動を逆探知し、経路をつきとめる「感染経路トレース」機能まで装備しました。
これからは、守る。制御する。追跡して追いつめる。その先進性は、ハッカーへの大きな抑止力になります。
※FFR yaraiは、株式会社フォティーンフォティ技術研究所の商標または登録商標です。
標的型攻撃時代のトータルセキュリティソリューション
SML セキュリティスイート with Yarai
セキュリティ　SML　検索